



令和5年度「特色ある学校づくり対策事業」

佐世保市立早岐小学校

創 立 明治7年(149年目)
所在地 佐世保市早岐2丁目32番12号
校 長 尼崎 悦朗
児童数 607名 学級数 26学級
(R5年 5.1現在)

つながる心もち 夢に向かってがんばる子ども
～ 自ら学び かかわり きたえる児童の育成を通して ～

目 的

- (1) 生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の育成を意識した教育課程を編成し、子どもたちの資質・能力の向上を目指す。
- (2) 地域とともに歩む学校づくりに沿った教育課程を実施し、子どもたちの地域への理解を深めるため、地域の教育力を活用した「ふるさと教育」の実践を図る。
- (3) 潤いのある教育環境と温かみのある人間関係の醸成に取り組み、心豊かな児童が輝く学校づくりを図る。

運 営

令和5年度の特色ある学校づくりの主題を、早岐小学校教育目標である『つながる心もち夢に向かってがんばる子どもの育成』とし、昨年度に引き続き、副主題を『自ら学び かかわり きたえる児童の育成を通して』と設定した。

本校は、早岐茶市や早岐瀬戸など、長い歴史に育まれた地域性や豊かな自然など、様々な特色を有する早岐地区に立地している。これらを地域教材として生か

し、児童の発達段階や興味・関心に基づいて、右の図のような様々な取組を行えば、児童は主体的に学びに向かい、友達やゲストティーチャーなどとかかわり、様々な見方・考え方を働かせながら、自らの思考力・判断力・表現力を鍛えていくであろう。そして、最終的な目標である「夢に向かってがんばる子ども」の育成につなげていく。



活動の実際

教材開発



毎週木曜日の朝の活動を「漢字タイム」とし、市販の漢字教材や独自教材を利用して、練習問題に取り組ませている。

漢字検定協会が主催している「漢字検定」を、本校を準会場として1月19日に実施するとしたところ、82名の児童が参加の意

思を表明し、自主的に漢字練習に取り組む児童が増えた。また、実際に受験した79名の児童のうち、71名(89.9%)が合格するなど、基礎学力の向上が見られた。

学力向上



1年生から3年生において学力調査を行ったことで、児童一人一人の国語及び算数科における資質・能力の定着実態を把握することができた。今後、より個に応じた指導を図り、学力の向上につなげていく。

また、国語科における読み解く力を校内研修の柱の一つとしたことによって、学校評価における「子どもに、わかりやすい授業をくふうし、実践している。」の項目において、保護者が昨年度の3.4ポイントを令和5年度も維持、児童が昨年の3.5ポイントから、令和5年度の3.6ポイントへ0.1ポイント上昇するなど、教員の資質向上に成果があった。

栽培活動



季節ごとに花や野菜を育て、毎日の水やりや成長の記録を行った。野菜が収穫できた時や花が咲いた時には、子どもたちは生命のすばらしさを感じることができた。学校評価における「子どもは生命を大切にしている。」の項目は、全体評価平均は昨年度の3.7ポイントから、0.1ポイント

減少したが、児童の評価は3.8ポイントと高水準を維持することができた。

福祉教育



4年生は福祉をテーマとして総合的な学習を行った。社会福祉協議会との緊密な連携のもと、視覚・聴覚障害を持った方をゲストティーチャーとして招き、障害とともに生きる実体験を聞いたり、車いす体験やアイマスク体験を行ったりした。

子どもたちは自分たちを取り巻く福祉の重要性を理解すると同時に、同級生や特別支援学級の友達に対して、やさしい言葉かけをするなど、接し方を工夫する姿が見られるようになった。

ふるさと学習



3年生は、校区内の上原町に伝わる重要無形文化財である「上原町浮立」を、保存会の方を招き、体験することができた。自分たちのふるさとの伝統文化とそれを継承することの重要性を、体験を通して学ぶことができた。

また、校区内の大念寺や早岐神社などの史跡巡りを行ったことで、郷土への関心を高めることができた。



さらに、2年生の生活科や3年生の総合的な学習においては、地域の一大イベントである「早岐茶市」の見学をとおして、地域とのつながりやそこで働く人の様子や思いを学ぶことができた。

平和学習



4年生の平和学習では、実際に原爆資料館や平和公園を訪れ、全校児童の願いがこもった千羽鶴を奉納した。その際、特色の予算を活用し、平和案内人をゲストティーチャーとして呼ぶことができたため、

戦争の悲惨さや当時の生活の様子について体験的に学ぶことができた。見学後は、学習のまとめを8月9日の全校平和集会において発表し、平和への考え方を全校にも波及させることができた。



キャリア教育

5年生は、家庭科の学習において、世知原農協の協力のもと、世知原茶の生産・販売にかかわる人たちをゲストティーチャーに招き、お茶の入れ方を学んだ。



普段、何気なく飲んでいる煎茶が、入れ方によって、味がとてもおいしくなることを体験する中で、日本の伝統文化である緑茶の良さについて再認識することができた。

6年生は、総合的な学習の一環として、地域の講師を招き、「着付け教室」を行った。実際に一人一人浴衣の着付けを体験したことで、児童は日本の伝統文化である着物や浴衣について理解を深め、日本の伝統的な所作に関心や興味をもつことができた。

